



2018年8月8日
東日本旅客鉄道株式会社

「第5回女性技術者育成功労賞」受賞について

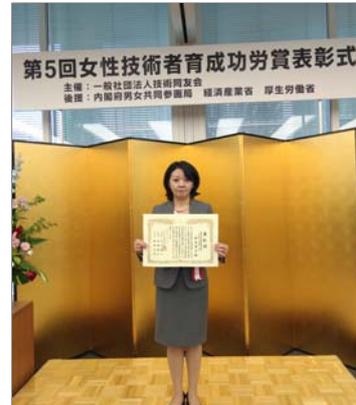
東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤祐二）の総合企画本部品川・大規模開発部次長 鈴木孝子は、8月8日、一般社団法人技術同友会事務局が主催する「第5回女性技術者育成功労賞」を受賞しました。鉄道事業者では初めての受賞となります。

鈴木は1990年に入社し、産休・育休を経て、新宿駅・渋谷駅・横浜駅・千葉駅をはじめ首都圏の大規模ターミナル駅の改良工事等に携わるなど電気系統の技術者として活躍しており、その後続く女性社員の進む道の足掛かりを作ってきました。また、女性が働きやすい職場を目指し、特に2010年以降は定期的に電気系女性社員主体の意見交換会を開催するなど、女性社員の活躍に向けた取り組みが評価され、今回の受賞に至りました。

■女性活躍推進の取り組みについて

当社では会社発足以降、女性の採用と職域拡大に取り組んできた結果、現在、女性社員は約7,300名と社員全体の1割強を占め、そのうち女性の技術職社員は約400名に至るまでとなりました。また、女性社員の勤続年数が伸長してきたことも踏まえ、2027年までに女性の管理職比率13%以上という目標を掲げており、今後もマネジメント層としての活躍が期待できる人材への育成にスピード感をもって取り組んでいきます。

多様な社員が持てる能力を最大限に発揮できるようダイバーシティ・マネジメントを推進し、社員の意欲や働きがいの創出により当社の持続的な成長を実現していきます。



「女性技術者育成功労賞」について

産業界の女性技術者が働きやすい環境を整え、女性の労働機会や活躍の場を拡充するため、役員・管理職への女性登用を促進することを目的にした表彰制度です。日本の産業競争力強化を図るとともに、政府目標「2020年30%」（指導的地位に占める女性の割合を2020年までに30%程度）の実現に向けて、女性技術者の育成に功績のあった対象者を顕彰しています。